

2024年度 授業シラバス

FC TOKYO

授業名	カメラワーク				開講区分	前期	後期	通年
学科・専攻	総合芸術科				昼間一部			
必修選択	必修	年次	1年	担当講師	大木先生			
授業形態	実習	総時間(単位)	120	講師略歴	CM 映画 ドキュメンタリーなどの撮影監督・演出。 日本映画撮影監督協会所属			
【授業の学習内容】 表現者及び表現を支える技術者の育成を目的として、映画がどのような要素で構成されているかを説明する。								
【前期:到達目標】 映画表現についての基本理解					【後期:到達目標】			

前期				後期			
授業計画・内容				授業計画・内容			
1	自己紹介・概要説明			1	フィルムからデジタルへ／映像の原理、カメラの仕組み、撮影機材など		
2	映像表現とはなにか			2	撮影(基礎)／白、黒、グレーの立方体をそれぞれ同じバックで撮影		
3	黒澤明の方法			3	フレーミング／画面比・画角と構図の作り方		
4	ワンシーンワンカットの誘惑・溝口健二の場合			4	画を繋ぐ／サイズの選択、カメラアングル		
5	カットを繋ぐ・小津安二郎と成瀬巳喜男			5	カット割、イマジナリーラインなど		
6	ビジュアルイメージの研究			6	オリジナルシナリオをもとに『黒い箱』その1		
7	ライティング①			7	オリジナルシナリオをもとに『黒い箱』その2		
8	ライティング②			8	オリジナルシナリオをもとに『黒い箱』その3		
9	色彩の研究			9	オリジナルシナリオをもとに『黒い箱』その4		
10	フレーミング			10	名作のワンシーンをコピーする『乱れる』		
11	映画的時間			11	名作のワンシーンをコピーする『暗殺の森』		
12	撮影手順。撮影用語①			12	カメラ、レンズの基礎知識、特殊撮影①		
13	撮影手順。撮影用語②			13	カメラ、レンズの基礎知識、特殊撮影②		
14	撮影手順。撮影用語③			14	カメラ、レンズの基礎知識、特殊撮影③		
15	まとめ			15	カメラ、レンズの基礎知識、特殊撮影④		
評価方法	実的センスと表現スキル、応用力40% 出席率及び向上心30%。機材取り扱い等の習熟度・技術の理解度20% 協調性10% の割合で総合的判断を下す(やむを得ない欠席の場合、レポート提出を義務付ける)			評価方法	実的センスと表現スキル、応用力40% 出席率及び向上心30% 機材取り扱い等の習熟度・技術の理解度20% 協調性10% の割合で総合的判断を下す(やむを得ない欠席の場合、レポート提出を義務付ける)		
準備学習 時間外学習	映画館での映画鑑賞			使用教科書 教材 参考書	「映画術」トリュフォー&ヒッチコック著「マスターオブライト」Dシェーファー&Lサルバート著「映画表現の教科書」バン・シル著「映画の文法」Dアリホン著「撮影監督」小野民樹著「映画撮影とは何か」山口猛篤、など		

2024年度 授業シラバス

FC TOKYO

授業名	グラフィックデザイン				開講区分	前期	後期	通年
学科・専攻	総合芸術科				昼間一部			
必修選択	必修	年次	1年	担当講師	泉原昭人先生			
授業形態	実習	総時間(単位)	120	講師略歴 スタジオマンゴスチン主宰。 短編アニメーションやイラストを制作。国際映画祭等で受賞、上映多数。				
【授業の学習内容】 Photoshop、Illustratorの二つのグラフィックソフトについて、実習制作を行いながら、技術習得を行う。								
【前期:到達目標】 Photoshop、Illustratorの基礎技術を理解し、課題を制作することで素材の加工から印刷物が作成されるまでの行程を理解する。					【後期:到達目標】 Photoshop、Illustratorの基礎技術を理解し、課題を制作することで素材の加工から印刷物が作成されるまでの行程を理解する。			

前期				後期			
授業計画・内容				授業計画・内容			
1	<デザインワークについて>Photoshop、Illustratorはどのように使用されているか、ポスターの制作過程から学ぶ			1	<Illustrator>ツール機能 ブレンド(応用デザイン)		
2	<Photoshop> ・ドキュメント設定、レイヤー構造について			2	<Illustrator>ツール機能 アピアランス(線種について)		
3	<Photoshop> ・選択範囲1 合成加工			3	<Illustrator>演習:地図を作成する		
4	<Photoshop> ・選択範囲2 合成加工			4	<Illustrator>演習:ポスター制作①		
5	<Photoshop> ・選択範囲3 合成加工			5	<Illustrator>演習:ポスター制作②		
6	<Photoshop> ・レイヤーマスク1			6	<Illustrator>演習:ポスター制作③		
7	<Photoshop> ・レイヤーマスク2			7	<photoshop+Illustrator> 解像度について①		
8	<Photoshop> ・レイヤーマスク3			8	<photoshop+Illustrator> 解像度について②		
9	<Photoshop> ・色調補正1			9	<photoshop+Illustrator> 演習:映画祭ポスターの制作①		
10	<Photoshop> ・色調補正2			10	<photoshop+Illustrator> 演習:映画祭ポスターの制作②		
11	<Photoshop> ・色調補正3			11	<photoshop+Illustrator> 演習:映画祭ポスターの制作③		
12	<Illustrator>オブジェクト構造について			12	<photoshop+Illustrator> 課題:オリジナルポスター制作①		
13	<Illustrator>主なツール機能について理解する 1			13	<photoshop+Illustrator> 課題:オリジナルポスター制作②		
14	<Illustrator>主なツール機能について理解する 2			14	<photoshop+Illustrator> 課題:オリジナルポスター制作③		
15	<Illustrator>テキスト設定			15	課題提出		
評価方法	学習行程で作成したデータを必ず提出し、学期末に総合的に判断する。提出物が期日にまでに提出できない場合はマイナス評価の要因となる。			評価方法	学習行程で作成したデータを必ず提出し、学期末に総合的に判断する。提出物が期日にまでに提出できない場合はマイナス評価の要因となる。		
準備学習 時間外学習				使用教科書 教材 参考書			

2024年度 授業シラバス

FC TOKYO

授業名	スタジオワーク				開講区分	前期	後期	通年
学科・専攻	総合芸術科				昼間一部			
必修選択	必修	年次	1	担当講師	高木 稔			
授業形態	実習	総時間	120	講師略歴	(株)ニューテレスにて20数年間VEとして番組制作の最前線に携わる。「はねるのトびら」「ものまね紅白」等、主にCXのバラエティ番組を中心に従事してきた、それ以外にもドラマ、映画、中継等にも携わる。			

【授業の学習内容】

スタジオカメラの技術の習得、スタジオサブシステムの理解、現場に必要な最低限の知識とスキルを必要性を感じさせながら学習することを目標とする。

【前期:到達目標】

番組制作を学ぶための最低限のスキルを身に付ける

【後期:到達目標】

番組制作を学ぶための理解をより深める

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
1	オリエンテーリング、講師紹介 機材取り扱い基礎(機材の大切さ、身体の安全の重要性)	1	VE基礎④(カメラ調整、色温度、カメラコントロール)
2	番組制作技術①(番組ができるまで等)	2	番組制作技術②(バラエティスタジオ技術)
3	テレビ技術基礎①(テレビの仕組み)	3	カメラオペレート④
4	カメラ基礎①(カメラの仕組み)	4	サブシステム②(オペレート)
5	カメラオペレート①	5	カメラ基礎③(GoPro,POV,デジ等小型カメラ)
6	テレビ技術基礎②(信号、タイムコード、ファイルフォーマット)	6	番組制作技術③(ドラマ、中継技術)
7	サブシステム①(サブの役割)	7	VE基礎⑤(VTR系)
8	カメラオペレート②	8	カメラオペレート⑤
9	カメラ基礎②(レンズ、被写界深度、バックフォーカス、センサーサイズ等)	9	番組制作技術④(バラエティロケ技術)
10	カメラオペレート③	10	カメラオペレート⑥
11	VE基礎①(VEとは)	11	カメラ基礎④(特機の種類、特殊撮影)
12	VE基礎②(VEとは)	12	カメラ基礎⑤(特機の種類、特殊撮影)
13	VE基礎③(VEとは)	13	特別講座(秋山カメラマン)
14	スタジオセッティング(SET~カメラチェック~カメラ調)	14	特別講座(秋山カメラマン)
15	スタジオセッティング(SET~カメラチェック~カメラ調)	15	総括授業
評価方法	実技、レポート、授業に対する姿勢	評価方法	実技、レポート、授業に対する姿勢
準備学習 時間外学習	番組制作現場実習等	使用教科書 教材 参考書	TVスタジオ、サブコン、スタジオカメラ、その他適宜

2024年度 授業シラバス

FC TOKYO

授業名	放送業界基礎知識				開講区分	前期	後期	通年
学科・専攻	総合芸術科				昼間一部			
必修選択	必修	年次	ⅡⅢⅣ	担当講師	吉田 茂博			
授業形態	実習	総時間(単位)	120	講師略歴	テレビ朝日「池上彰のニュースそうだったのか!!」(プロデューサー) NHK 総合「民謡魂ふるさとの唄」(演出) NHK BSプレミアム「日本の祭りinやまぐち2023」(プロデューサー) など、たくさんの番組のプロデューサーをはじめ、演出、舞台監督を歴任			
【授業の学習内容】								
一年間を通して、ひとつの番組を作り上げていくことを目指します。そのため、授業の流れとしましては、企画段階から、完パケまでの道筋の順で授業を進めていきます。授業形態としては、座学的な勉強のみならず、打ち合わせ形式を取りながらをどのような番組を作り上げていくかなどを決めていきます。その後は、どんどん実技を取り入れながら、プロの現場さながらの授業に移行していきます。ほかにも、技術の学科や美術の学科などいくつかの学科とコラボレーションしながら、本当の番組制作を体験できればと思っています。								
【前期:到達目標】					【後期:到達目標】			
企画から音本まで作成及び、インサートVTRの作成、ロケや簡単な撮影・編集・MAなど					スタジオ実習で収録・完パケを目指します。スタジオ収録・編集・MAなど			

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
1	テレビ番組制作における基礎知識		1	番組制作における台本確認授業	
2	番組制作における企画授業		2	番組制作における台本確認授業	
3	番組制作における企画授業		3	番組におけるスタジオ実践 授業 * スタジオ	
4	番組制作における構成案作成授業		4	番組におけるスタジオ実践 授業 * スタジオ	
5	番組制作における構成案作成授業		5	番組におけるスタジオ実践 授業 * スタジオ	
6	番組制作における構成案作成授業		6	番組リハーサル授業 * スタジオ	
7	番組制作における台本作成授業		7	番組本番授業 * スタジオ	
8	番組制作における台本作成授業		8	番組編集授業	
9	番組制作における台本作成授業		9	番組編集授業	
10	コーナー台本作成授業		10	番組編集授業及びMA用ナレーション原稿作成	
11	コーナー台本作成授業 * ナレーション原稿作成		11	番組MA授業	
12	コーナーロケ授業		12	番組MA授業	
13	コーナー編集授業		13	番組MA授業 * ナレーション収録	
14	コーナーMA授業 * ナレーション収録 コーナー部分完パケ		14	番組MA授業 * ナレーション収録	
15	総括		15	試写 反省会 授業	
評価方法	どれだけ授業に積極的に参加・取り組みをしたか。		評価方法	どれだけ授業に積極的に参加・取り組みをしたか。	
準備学習 時間外学習	技術の学生と美術の学生との番組制作における打ち合わせとなる授業。 必要に応じたロケを学生たちに撮影してきてもらう		使用教科書 教材 参考書	株式会社ルックの「番組制作の流れ、など学生用に直したものを使用ほか 弊社が制作した番組のVTRと台本。 * 台本などは外部への流出を防ぐため毎回貸与という形でできればと思っています。	